

大会申し合わせ事項

ダブルスの部

1. 上肢障害や車椅子使用者等の障害によりやむを得ないと認められ場合においてサービスは、下記の点について配慮する場合がある。
 - ① サーバーのラケットで打たれる瞬間に、シャトル全体がサーバーのウエストより下になければならない。
 - ② サーバーが持つラケットのシャフトは、シャトルを打つ瞬間に下向きでなければならない。
2. 下肢障害を有するものはダブルレシーバールールの適用を希望することができる。但し、毎回試合開始前に審判に申請しなければ適用されない。試合開始後に申請した場合は、その時点からではなく、次のセットから適用する。
ダブルレシーバールールとは下記の通りである。

- 下肢障害を有するものがレシーバーとなる場合、もう 1 人のプレーヤーを含め、2 人がレシーバーとなることができる。但し、サーバーが、サービスの動作を開始する前に、2 人ともレシーブエリアに入っていないなければならない。

3. 監督・介助者席は、コートサイドに設ける。なお、2 人までの立入を可能とする。

ラリー競争の部

1. ラリー競争のコートは半面にて、1 コートに 2 ペア（組）入り実施する。ラリーはネットを挟んで行う。
2. ラリーのカウントは 5 分間のうち参加者が連続して打った回数の最高回数で競う。サービス（打ち始め）はペアのどちらからでも良いが、参加者からのサービスも 1 回とカウントする。